

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款・項・目・細目・細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
義務教育の充実	社文		学校教育課	<p>課題認識:概ね正しい。目標達成度:一定の成果を上げている。</p> <p>・飯田市らしい地域特性を活かした、コミュニティースクールの構築を検討されたい。また、家庭環境による教育格差が生じないよう、学習ボランティア等、学習コーディネーター配置、サポート。また、公教育現場の負担軽減を併せ、配慮いただきたい。</p> <p>・就学前の子育てにおける家庭教育を含む、幼保小連携の政策を検討されたい。</p> <p>・小学校の不登校児童増加の原因等の分析を行い、対策に取り組まれたい。</p>	-	-	<p>・飯田市では、平成27年度を小中連携・一貫教育の「質」を高めていく段階への移行期と位置づけ、4つの視点を設けました。その中の一つで、地域住民が学校運営・学校支援・学校評価を一体的、持続的に実施していく「飯田市らしいコミュニティスクール」づくりを進めています。その取組では、様々な教育活動への支援だけでなく、地域の方に学習支援ボランティアとして授業や補習の支援に入っただけなく取組も進めています。</p> <p>・飯田市では、小中連携・一貫教育と並行し幼保小連携推進に取り組んでいます。この3年間は、途切れのない支援を重点にした発達障がい傾向の児童への個別指導計画の研修を実施しています。平成28年度からは、幼保小の学びのつながりについて、特に接続カリキュラムの有効な活用について検討していきます。</p> <p>・飯田市では、不登校対策として「5つのアクション」を策定し、全小中学校でそれに基づく取組を推進しています。引き続き、不登校対策は、学校全職員がチームとして解決すべき課題と認識し、児童生徒一人ひとりに寄り添った指導を心がけ、不登校の未然防止と解決に取り組んでいきます。</p>	-	-	-	-
学力向上支援事業	社文	現状維持	学校教育課	<p>・全国学力学習状況把握の実施とPDCAサイクルによる指導により、さらなる学力向上に努められたい。</p> <p>また、10分間ドリルや読書など学習意欲が増し、勉強心が向上する取組をさらに工夫されたい。</p>	見直し・改善	廃止	<p>・飯田市では、研究委員会を設け、学力・学習に関わる状況把握や課題分析と、合わせて、学力向上に向け各校で行っている特徴的な取組などを研究し、市内小中学校全体で共有を図っています。</p> <p>・平成28年度は、学力向上や不登校対策に中学校区単位で取り組む新たな事業構築に向け支援を行います。</p>	300	0	10-2-2-10-18 10-3-2-10-16 ゼロ予算	-

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款・項・目・細目・細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
高等教育の充実	社文		学校教育課	<p>課題認識:概ね正しい。目標達成度:一定の成果を上げている。ただし、教育への家庭環境による格差の現状把握が課題。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての生徒が将来に向けて学べる環境を保障し、地域の企業との連携のとれた人材育成をさらに強化されたい。</li> <li>奨学金制度の拡充と篤志寄付を募る取り組みも検討されたい。</li> <li>飯伊8高校へキャリア教育の展開をされたい。</li> </ul>	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業と連携のとれた人材育成としては、地域企業での職場体験などキャリア教育の推進により、地域に愛着を持ち主体的に人生を切り拓く力を、児童生徒に育んでいきます。</li> <li>奨学金制度を利用して進学し、償還の一部免除制度によってUターンする学生が少しずつ増えており、一定の効果が現れ始めています。今後の更なる支援に向けて情報収集に努めます。</li> <li>高校へのキャリア教育の展開については、義務教育9年間の学びが更に持続できるよう取り組んでいきます。</li> </ul>	-	-	-	-
家庭教育の充実	社文		公民館	<p>課題認識:概ね正しい。目標達成度:一定の成果を上げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣を高めるために、PTAとおして家庭教育の重要性を啓発されたい。</li> <li>青少年のSNS利用に対する対応を、家庭、学校での指導を強化されたい。</li> </ul>	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA向けの「わが家の結いタイム」や「食育」の推進により家庭教育の大切さを周知していきます。</li> <li>川路通学合宿をモデルとし、学校・家庭・地域が教育観を共有し、協働して子どもたちを育てる取組を進めることを通して、基本的な生活習慣の習得をはじめとした子どもたちの育ちを支える取組を推進します。</li> <li>SNSやインターネットトラブルについては、保護者向けの研修会なども企画し、「わが家の約束」など親子で確認し、メディア機器と上手に付き合うことを学ぶ(メディアリテラシー教育)を推進します。</li> </ul>	-	-	-	-
スポーツの振興	社文		生涯学習・スポーツ課	<p>課題認識:概ね正しい。目標達成度:一定の成果を上げている。ただし、スポーツ施設整備の要望は高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した施設の中、長期的な改修計画を早急に示し、修繕の必要な施設は市民ニーズに応えられたい。</li> <li>市民要望の強い、グラウンドの芝生化に、市民協働で取り組まれたい。</li> </ul>	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設マネジメント基本方針に沿って施設のあり方を検討し、改修等の方針を示していきます。</li> <li>また、グラウンドの芝生化については、関係する競技団体とも相談しながら調査研究していきます。</li> </ul>	-	-	-	-

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款-項-目-細目-細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
学習交流活動の推進	社文		公民館	<p>課題認識:概ね正しい。目標達成度:一定の成果を上げている。                      ・地域の公民館がさらに地域特性を活かし、利用者が増える企画と運営を市民協働で取組まれたい。                      ・新しい情報や学習交流の場を、現在の図書館機能を検証しつつ、複合型(カフェなど)学習交流の場づくりを検討されたい。</p>	-	-	<p>・「大人の学びが子どもの育ちを支える」ことをねらいとし、住民主体の公民館活動を通して学んだ大人たちが、学校を支え、子どもたちを育てる活動に重点的に取り組みます。                      ・「読書を通して地域や社会を見る目を広げる」機会とすることをねらいとし、市民と協働した事業を推進し、より親しまれる図書館となるよう、事業内容を工夫して、学びの輪を広げる取組を進めます。</p>	-	-	-	-
ふるさと意識の醸成	社文		生涯学習・スポーツ課	<p>課題認識:概ね正しい。目標達成度:一定の成果を上げている。                      ・自然・歴史的価値を見出し、シティープロモーションとして、メディア媒体を有効活用した情報発信に取組むとともに、あらためてふるさと意識の喚起につなげる取組みをされたい。</p>	-	-	<p>・多様な地域資源の価値や、地域における活用事例等を、ホームページや、広報紙、地域紙(誌)、映像等を通じて積極的に情報発信します。</p>	-	-	-	-
高校生等次世代育成事業	社文	拡大	公民館	<p>・飯田下伊那すべての高校へ水平展開をし、人材育成、人材確保をされたい。</p>	現状維持	現状維持	<p>・次年度で5年目を迎える飯田OIDE長姫高校商業科の取組について、教師が代わっても取組が継続し、向上するよう、これまで以上に目標を共有した取組となるよう学校と地域のコミュニケーションを強めます。                      ・地域人教育がきっかけとなり、飯田高校、飯田女子高校、下伊那農業高校、阿智高校などと地域を結ぶ取組が始まっています。また、高校と地域を結ぶ取組がきっかけとなり、生徒が主体となって地域の将来や自分の生き方を考える取組も始まっています。これらの取組の核には、地域人教育や高校生講座カンボジアスタディツアーに参加した生徒たちの存在があります。この事業を継続実施し、生徒たちの主体的な取組に展開できるよう、支えていきます。</p>	1,839	1,839	10-5-4-11-2	342

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款-項-目-細目-細々目	一般会計 予算書 掲載頁
					事業規模	予算					
心と体の健康づくり	社文		保健課	<p>課題認識:概ね正しい。目標達成度:一定の成果を上げている。ただし、特定健診の受診率低下は課題。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診の受診状況を把握し、特定健診の受診率向上に取り組まれない。</li> <li>・地域健康ケア計画の着実な取り組みを展開し、健康づくり+10の普及啓発に取り組まれない。</li> </ul>	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間未受診の方には受診勧奨はがきを送付し、受診率の低い140歳代、50歳代の未受診の方には電話により未受診の理由を聴取し、受診勧奨を行います。さらにこれまでの健診日程に加えて秋に集団健診日を追加し、特定健診の受診率の向上を推進します。</li> <li>・各地区でプラステン(+10分)講座を開催し、プラステンの実践につながる機会をつくれます。また、市内循環バスへの啓発旗掲出など、プラステンの認知度を高めていくための啓発を行います。</li> </ul>	-	-	-	-
医療の充実	社文		市立病院経営企画課	<p>課題認識:概ね正しい。目標達成度:一定の成果を上げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療・介護総合確保推進法に基づき、今後の病院の病床数の推移を注視するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療関係者と連携し、積極的に取り組まれない。</li> <li>・かかりつけ医制度を市民に周知し、医療の機能分化に取り組まれない。</li> <li>・飯田下伊那診療情報システムism-Linkを地域医療機関の協力のもとに活用を推進されたい。</li> <li>・看護・介護職の確保に取り組まれない。</li> </ul>	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議を開催するほか、南信州広域連合を事務局として在宅医療と介護の連携の推進に関する広域的な課題に対応します。</li> <li>・かかりつけ医について周知を図ります。</li> <li>・飯田下伊那診療情報システムism-Linkの活用推進を図ります。</li> <li>・人材確保については、医師会等関係団体、南信州広域連合と連携し、広域的な課題として取り組みます。</li> </ul>	-	-	-	-

施策名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款・項・目・細目・細々目	一般会計 予備費 掲載頁
					事業規模	予算					
共に支えあう地域福祉の推進	社文		福祉課	課題認識:概ね正しい。目標達成度:一定の成果を上げている。 ・医療と介護の連携による、地域包括ケアシステムの構築と、地域の実情に合ったきめ細やかな、地域福祉計画の策定・運用に取り組まれない。 ・地域ごと作成された、助け合いマップの実効性ある活用をされたい。	-	-	・新たに設置される在宅医療・介護連携推進事業推進協議会と連携して、地域包括ケアシステム構築の基盤となる在宅医療と介護の連携の促進を図ります。 ・地域福祉計画は、日常生活を送る上での福祉的な課題を解決していくために、地域の支え合いや住民相互の助け合いといった共助をキーワードとし、次期総合計画に合わせ、平成28年度までに策定します。 ・住民支え合いマップの活用については、飯田市社会福祉協議会と連携し、まちづくり委員会健康福祉委員会等を対象に地域福祉活動学習会を開催し、地域の福祉課題の検討や課題解決に向けた事業の立上げを推進します。	-	-	-	-
高齢者福祉の推進	社文		長寿支援課	課題認識:概ね正しい。目標達成度:安心して暮らせている高齢者の割合及びいきいき暮らせている高齢者の割合が減少傾向にあることから、ある程度進んだとの市側の評価が正しいとは言い切れない。状況を把握し、今後の推移を見守られたい。 ・認知症対策を含めた介護予防の充実に取組まれたい。	-	-	・目標達成度の今後の推移を注視し、背景にある要因の分析を行います。 ・平成28年4月から新しい総合事業を導入し、認知症の人のケアを含めて介護予防事業と生活支援サービスの充実に努めます。	-	-	-	-
高齢者生きがい推進事業	社文	やり改善	長寿支援課	・高齢者の生涯学習活動の場を、市全体で検討し、例えば公民館事業として展開できるよう事業の統廃合を検討されたい。	見直し・改善	廃止	・地区の公民館活動として実施することが適当な内容の事業は、公民館での活動に移行するとともに、全市的な高齢者の生きがいづくりの活動、事業については、行政としての支援のあり方の検証を常に行いながら、継続して事業実施の支援を行っていきます。 ・パソコン教室の委託料のあり方を見直し、全額受講者の負担とします。	47	0	3-1-4-15-1 ゼロ予算	-

施策名 事務事業名	委員会	提言での方向性	施策主管課・事務事業担当課	施策及び事務事業に対する議会の提言	事務事業での対応		提言への対応状況(施策は考え方や計画・特筆すべき事項について、事務事業は事業計画と予算内容について記載)	H27 当初予算 (単位:千円)	H28 当初予算 (単位:千円)	予算科目 款・項・目・細目・細々目	一般会計 予備費 掲載頁
					事業規模	予算					
認知症対策総合推進事業	社文	拡大	長寿支援課	・認知症地域支援体制の構築により、認知症の理解度を深め、社会全体で見守るため、キャラバンメイトやサポーター制度の確立と支援を拡充をされたい。 ・認知症の徘徊等見守り訓練を地域あげて取り組まされたい。	拡大	縮小	・認知症について幅広く市民の理解を深めるためにサポーター養成講座や学習会の拡大と、講座の講師である認知症キャラバンメイトの活動の支援に取り組みます。 ・サポーター養成講座等を通じて認知症の人への声のかけ方、見守りの方法について市民の理解を広め、地域で認知症の人を見守る意識の醸成を図ります。また、徘徊が心配される人についての情報の関係機関との共有のあり方について研究を行い、徘徊があった場合の迅速で適切な対応の方法について検討を行います。 ・新たに認知症ケアパスの作成、認知症初期集中支援チームの設置を予定しています。 ・予算額は、事務費の抑制により縮小しました。	6,094	5,216	介護特会 5-3-1- 30-1	152
生活困難者の自立及び支援	社文		福祉課	課題認識:概ね正しい。 目標達成度:一定の成果を上げている。 ・生活困窮者自立支援制度の着実な推進に取り組まされたい。 ・生活保護から自立できるよう、必要な支援措置を拡充されたい。	-	-	・生活困窮者の抱える複合的な課題解決に向けた取組を強化するため、新たに家計相談支援事業を実施し、就労準備支援事業や学習支援事業の実施に向けた研究を更に深めます。 ・生活保護制度に則り、自立に向けた適正な実施に努めます。被保護者就労支援員とケースワーカーが一層の意思疎通を図り、ハローワーク、生活就労支援センター等の関係機関と連携し、被保護者に対して就労支援を行います。	-	-	-	-
子どもを産み育てやすい環境の充実	社文		子育て支援課	課題認識:概ね正しい。 目標達成度:一定の成果を上げている。 ・「子ども家庭応援センター」の運用を検証されたい。 ・保育料金等の段階的軽減をさらに充実されたい。	-	-	・子ども家庭応援センター(ゆいきっず)で運営している「ゆいきっず広場」は、7月の開所以来1日平均12.6組の親子の利用があり、利用状況としては順調と認識しています。より魅力的な講座やイベント等を実施し、運営の維持・拡大に努めます。相談窓口における子育て・発達・教育に関する相談件数は、開所前と比較して月当たり2.2倍に増加し、その機能を充分果たしていると考えます。引き続き、相談しやすい窓口としての機能を充実させていきます。 ・平成27年度の保育料多子世帯軽減は、第3子目の軽減率を20%から50%に拡充しました。平成27年度に施行された子ども・子育て支援新制度における国の動きを注視する中で、今後の保育料のあり方についても検討していきます。	-	-	-	-
地域資産の保存・継承	社文		生涯学習・スポーツ課	課題認識:概ね正しい。 目標達成度:一定の成果を上げている。 ・橋北まるごと博物館構想、座光寺恒川官衙遺跡、無形民俗文化財や、ユネスコ・エコパーク、ジオパーク等、地域の理解を得て取り組むとともに、市民への普及啓発と地域の魅力発信に取り組まされたい。	-	-	・平成28年度の重点取組となる恒川官衙遺跡の整備活用事業をはじめとするそれぞれの事業については、関係地域との協働・連携関係を維持・構築しながら取り組むとともに、多様な媒体の活用や学習機会の提供を通じた情報発信や普及啓発をさらに進めます。	-	-	-	-